

平成 25 年度 第 1 回松江市歴史まちづくり推進協議会 議事録〔概要版〕

○開催日時：平成 25 年 8 月 9 日（金） 13：30～15：25

○場 所：松江市役所 西棟 5 F 防災センター

○出席者：(委員)

浅田純作委員（会長）、安部登委員、井ノ上知子委員、大北哲也委員、
勝部昭委員、祖田浩志委員、原美江委員、福村敬香委員、藤居由香
委員、三島健治委員、三島花子委員、山本誠委員、吉田聖愛委員
安部隆教育委員会副教育長、安田憲司都市整備部長
(五十音順、敬称略)

欠 席 高橋一清委員、錦織裕司産業観光部観光事業部長

(市)

松浦副市長、永島歴史まちづくり課長、村尾観光文化課長、
金森公園緑地課長、福井観光施設課長、稲田史料編纂室長、
飯塚歴史まちづくり課施設整備係長、赤澤文化財課調査係長、
片岡文化財課主幹
中本、浜崎、内藤（歴史まちづくり課）

○傍聴者：2名

○会議次第

1. 開 会

2. 松浦副市長挨拶

3. 委員の交代について（資料 1）

4. 会長および会長代理の選出について

5. 報告事項

①松江市歴史まちづくり推進協議会設置要綱の改正について（資料 2）

②松江市歴史的風致維持向上計画の変更認定について（資料 3, 4, 5）

③平成 24 年度進捗管理評価シートの公表について（資料 6, 7）

6. 議 題

①平成 25 年度の事業計画について（資料 8, 9）

②平成 25 年度歴史的風致維持向上計画の総括評価について（資料 10）

7. その他

8. 閉 会

[開会 13:30]

事務局（永島歴史まちづくり課長）

[挨拶・資料確認]

松浦副市長

[挨拶]

事務局（永島歴史まちづくり課長）

[委員の紹介・出席状況の報告・会長選任]

浅田会長

[会長挨拶・会長代理の指名]

事務局（永島歴史まちづくり課長）

[進行交代]

浅田会長

[議事進行]

事務局（飯塚歴史まちづくり課施設整備係長）

報告事項の①から③を一括して報告する。

- ・資料2は、改正箇所を新旧対照表により説明をする。
- ・資料3は、歴史まちづくり法に基づく認定自治体の現在の状況で、4月11日付けで新たに3つの自治体が認定を受けている。
- ・資料4の左の列が歴史まちづくり計画の変更に関する経過を示している。

前回この協議会で変更案についてご意見をいただいたのちパブリックコメントの募集を行っており、結果意見はなかった。これを踏まえて国に計画書の最終版を提出している。

資料4の右の列は進行管理評価シートに関する経緯を示している。前回のこの協議会、文化財保護審議会の意見をいただき最終版として国に提出している。

それから、今年は毎年行う評価シートに加えて3年に1回のペースで行う総括評価という手続きがある。これは、事業の質又は事業を行うことによって表れた効果についてもう一步踏み込んだ内容の評価となる。こちらの総括評価の案も第2回のこの協議会でお示ししたい。

- ・資料7は、進行管理シートの本体になる。資料6はそれを1枚にまとめたダイジェスト版である。青で網掛けした箇所は全市的な事業を示し、黄色の箇所は重点区域での事業の取り組み状況を示している。各事業について進捗状況を説明。この資料

6と7をホームページに掲載する予定。

浅田会長

- ・只今の報告事項について質問があるか。

勝部委員

- ・資料6のことだが、真名井神社の参道は非常にきれいになっていい雰囲気になったが、現代の工法が多く使われており、周辺の景観と異質な感じがする。新しいものと古いものがうまく調和出来ればと思う。結構交通量があるので、交通標識が非常に目立つので、そういったことと整備がうまく合うと良い。今後の整備の参考になれば。

浅田会長

- ・事務局の方から何かコメントがあるか。

事務局（飯塚歴史まちづくり課施設整備係長）

- ・今後の整備の参考にさせていただく。

藤居委員

- ・整備事業と直接ではないが、ホーランエンヤ伝承館へ学生と見学に行ったとき、入場料の学生団体割引は高校生までですと言われた。大学生、高専、短大は歴史館でも団体割引を断られている。直接の入場者数には繋がらないかもしれないが、実際教育として使われ始めているので出来ればご検討いただきたい。

浅田会長

- ・同意する。事務局から何かコメントがあるか。

事務局（福井観光施設課長）

- ・ホーランエンヤ伝承館は昨年オープンして、現在歴史館と連携を取りながら運営している。料金の関係については今後いろいろと検討する中で考えていきたい。

浅田会長

- ・他に意見はないか。それでは、議題の方を進めさせていただく。続きまして議題①平成25年度の事業計画について事務局の方から説明を。

事務局（飯塚歴史まちづくり課施設整備係長）

- ・議題①、平成25年の事業計画について資料8により説明する。
- ・資料9により、道すじ修景整備事業について、事業目的、歴史まちづくり協定、補

助の対象、平成25年度の事業の進め方を詳しく説明する。

浅田会長

- ・いまの説明について、ご意見・ご質問はないか。

安部委員

- ・資料8について尋ねる。昨年度の事業計画には武家屋敷の修理の設計が出ていたが、今年度は外れている。その理由が聞きたい。

浅田会長

- ・事務局、回答を。

事務局(福井観光施設課長)

- ・武家屋敷の修理工事については、中の展示のあり方を検討したいと考えており、工事自体は平成27年度から実施の予定している。

安部委員

- ・展示の関係で修理は延期ということか。

事務局(福井観光施設課長)

- ・そうです。

安部委員

- ・松江城下町に残る唯一の武家屋敷ということで宣伝して観光を進めているが、その武家屋敷本体がかなり傷んでいる。また、明治以降改修しており本来の武家屋敷ではない。そういうことを考えると、本来の武家屋敷に復元するとすればかなりの期間が必要となる。早めに着工して期間を掛けてでも、本来の武家屋敷として復元することが急がれるのではないかと思うが、いかがか。

事務局(福井観光施設課長)

- ・そういった意見があることは重々承知している。出来るだけ早く着工できるよう努力していきたい。

井ノ上委員

- ・新規の事業について質問したい。大手前通りのまち歩きルート歩道整備事業ですが、歩きやすい道路とそこに残る資源、例えば、側溝に残っている石積を見つけて歩くのもまち歩きのひとつの大きな楽しみであるが、歩道整備事業に当たってどのような整備方針を持っているのか。

浅田会長

- ・事務局、回答を

事務局（永島歴史まちづくり課長）

- ・大手前通りの歩道整備は、現在南北に走っている市道のフラット化と側溝改良工事を考えている。松江市としては、地元要望を聞きながら整備計画を立てており側溝には出来るだけ蓋をしてほしいとう地元要望もあるので、安全面を優先させて整備していく考えである。ただし、石積みの部分は、大手前の道路整備の中で、例えばポケットパーク、公園整備を考える中で活用ができないか、検討していく。

井ノ上委員

- ・難しい問題だと思う。安心で安全な道路も大事であるし、お互いが歩み寄って、まち歩きの際に古い石積みを紹介できるようなスポットとかできれば良いと思っている。整理するのは大変であるが、その辺の配慮をお願いしたい。

三島健治委員

- ・資料9の道すじ修景事業について、これ自体は民間所有の建物等の整備事業ということであるが、堀川は昔交通手段で荷物を運んできて、そこから石段で持って上がったという意味では、食料を上げたり荷物を出したりしたなど説明できるような石段の修復も考えていただきたい。

浅田会長

- ・今のご意見について事務局の方でコメントを。

事務局（永島歴史まちづくり課長）

- ・今回取り組む道すじ修景については、あくまでも個人の建物の修景補助を考えている。石段の保存については県河川の管理エリアなので県と協議しながら検討していきたい。

勝部委員

- ・この道すじ修景整備は、保存或いは保護の面を少し考えながら整備すると良いのではないか。幸橋から京橋、東京橋辺りにかけて石積みは全部新しくされた。そうではなくて、是非いいものは残してもらいたい。よそから来た人に松江はきれいになったといわれるが、城下町の名残がどんどん消えていくような気がする。また、京橋の中にも筋違いの橋があって橋脚部分が残っている。水の中にあって見えたり見えなかったり、昔そこが道だったと言ったら、感激したといったことも聞いた。是非、城下町の名残が保存できるような面も考えながら修景整備を考えていただき

たい。

浅田会長

- ・今のご意見について事務局の方でコメントを。

事務局（永島歴史まちづくり課長）

- ・城下町の名残を保存、保護していくことも非常に重要なことだと考えており、県といろいろ協議しながら取り組みができればと考えている。

浅田会長

- ・この道すじ修景事業のワークショップとかアンケートの対象はあくまで地域の住民の方か。

事務局（永島歴史まちづくり課長）

- ・図面に表示している修景補助の対象区域に住んでおられる方を対象に考えている。

浅田会長

- ・基本的にこういう歴史的町並みの保存ということを第一に考えていくとしたら、この地域以外の方からも、ここは残してほしいなど意見を述べる機会なり、募集する機会を考えていただきたい。要望の高いものを整理し、要望の多いものなどは工夫次第で行っていただきたい。

事務局（永島歴史まちづくり課長）

- ・貴重なご意見をいただいたので、町内会等にもそういった要望等を確認する機会も検討したい。

藤居委員

- ・資料9の裏面の三つ目、10月から11月頃、他市での修景事例の紹介とあるが、是非このときリクエストであるが、協定と助成制度を分けて比較して示してほしい。建築協定、島根県であれば景観形成住民協定のようなものがある。その協定という言葉とか、今回は3分の2の方の同意を得るという協定というのはどんな種類があって、歴史まちづくり協定を結ぶとどういった良いことがあるのかという他の比較と、それから、助成制度も他の助成制度があってこれと比較してここで助成制度は導入する意味があるんだなどを示す表とかがあればいいのではないか。
- ・反対側の資料9の上の所だが、2のところの歴史まちづくり協定とはというところで、まず和風のイメージの共有がかなり難しいのではないか。松江の場合は切妻、平入りの住宅が多いわけだが、ホーランエンヤなどは入母屋になっているし、和風の共通イメージを皆さんが描けるかというところ、それから外観のデザインを揃え

る一つだと思うが、個人的には材料がある程度揃えられれば良いのではないかと。

イメージとかデザインはかなり個人差の大きいものなので、住民の方たちの思うことが出来るだけ同じような、誤解のない形になって欲しい。

浅田会長

- ・今のご意見に対してコメントを。

事務局（飯塚歴史まちづくり課施設整備係長）

- ・ワークショップの中では、協定とか助成についていろいろな比較した資料を使いながら、ここの対象区域にふさわしいのはどういった形か皆さんに理解していただけるような進め方をしていきたい。
- ・和風なイメージの共有は、難しい部分である。先進事例を引用するのは、例えばこういう建築物の場合はこういうアイテムを使うとこんな雰囲気になるとか、具体例を示しながら検討する。それで今年度作る道すじ整備の基本方針の中にはそういう修景事例をいくつか盛り込む形で、協定を結んだ方にお渡しするわけだが、自分の家を修景しようというときにそれがお手本になるようなものにしていきたい。こういうことをやりながらイメージの共有をしていきたい。

浅田会長

- ・この協定は整備事業のための協定にならないように気を付けて進めていただきたい。

原委員

- ・京橋川の周辺がきれいになることは誠によいが、以前の松江らしさがどんどん無くなっていくのがさみしいと思うので、松江らしさを残しながら整備していただきたい。

浅田会長

- ・今のご意見に対してコメントがあれば。

事務局（永島歴史まちづくり課長）

- ・そういったところは考慮しながら行いたい。

安部委員

- ・興雲閣の解体、修理についてお伺いする。興雲閣が閉鎖して3年になる。今年度から3年間の工事のようであるが、この3年間の工事の内容の経過を次の会でもよいが、聞きたい。市民がこの建物に非常に高い関心を持っているのでいかがか。

事務局（稲田史料編纂室長）

- ・ 興雲閣については、現在県の指定文化財である。大変老朽化して傷んだこと、歴史館ができることもあり、博物館機能に移すことから、この機会に解体修理を行う経緯がある。いろいろ検討会も含めて最終的に、今年度から3ヶ年かけて改修するということである。これらについては、いろいろな形で市民の皆さんに伝える必要があるので、市の広報或いは次回のこの協議会に説明する場というのは検討したい。今日直接の担当課長が欠席ですので、その旨は伝えておきたい。

浅田会長

- ・ 他にご意見、ご質問があれば。
これで、今年度の事業計画について承認を頂いたということでよいか。

（ 承 認 ）

浅田会長

- ・ 議題②の平成25年度歴史的風致維持向上計画の総括評価について事務局から説明を。

事務局（飯塚歴史まちづくり課施設整備係長）

- ・ 資料10により、歴史まちづくり計画の総括評価について説明。
- ・ 進捗評価は、毎年行うこととなっており、施策・事業の進捗状況进行评估し、翌年度の取り組みに反映させる。
- ・ 毎年行っている進捗評価の他に、今年度は3年毎に行う総括評価の年となっている。毎年行う進捗評価を踏まえ、計画の達成状況、計画の問題の改善状況を自己評価する。もう一つは事業の質の評価で、計画に基づき実施された代表的な事業について、事業の質を外部有識者からコメントをいただき、その内容を盛り込んで評価シートを作成する。
- ・ 進捗評価シートの作成にかかるスケジュールを説明。
- ・ 事務局提案であるが、今年度、コメントをいただく有識者について、この協議会の安部委員にお願いしたい。安部委員は、景観審議会からお出かけいただき町並みの景観について非常に詳しく、歴史まちづくり計画の策定当初から委員として携わっていただいているので適任ではないかと考えている。

浅田会長

- ・ 安部委員よろしいか。委員の皆さんもよろしいか。

（ 拍 手 ）

浅田会長

- ・ それでは、ただいまの説明について、ご意見、ご質問を。

福村委員

- ・ 基本的なところで、計画にP D C Aサイクルを導入するとあるが、どういったことか。

事務局（飯塚歴史まちづくり課施設整備係長）

- ・ P D C AのPは計画。Dがドゥ、実行、Cがチェック、評価。Aがアクトで改善である。計画して、それを実行してその結果を評価し、その評価結果を次のステップの改善につなげていくという一連の流れをP D C Aサイクルという。この歴まち計画が10年計画で事業を行うが、常に評価を循環させながら、計画も見直し、事業も見直し、いいものにしていくということが目的となっている。

大北委員

- ・ 10年計画が実行されていく場合に現代の時代の動きは非常に早く、特に歴史的町並みや景観という点では、よほどうまくチェックが働かないと取り返しがつかないことが起こってしまう。そういった場合行政側として基本的なプランに基づいて個々の変革にブレーキが掛かるかということ踏まえて、全市的な環境保全をどう考えるのか基本を早く持つておくべき。個々の部分はこういう委員会で個別に審議できるが、その一つ前の段階で抑えなければいけないことがないかと感じている。
- ・ 菅田庵ですが、建物は重文であるが、非常に寂れて、傷んで放っておたら大変だという感じがしている。結局現在は個人の所有物であるが、住んでいる方と登記上の所有者が別という面もあって大変だと感じたので全体的な問題として発言した。

浅田会長

- ・ ただいまのご意見に対してコメントを。

事務局（永島歴史まちづくり課長）

- ・ 景観等を含めた全体的な市の取り組みということだと思うので、ご意見を参考にさせていただきながら、内室となった景観政策室でこのあたりを押さえながら取組を進めていきたい。

祖田委員

- ・ 資料9で示された道すじ修景事業がいよいよ具体的な段階になってくるということでは、三島委員や勝部委員の声はここにいる方がほとんど同じ意見だと思う。
- ・ 7月からすでに地元説明会を行ったとのことであるが、そこで今現在の方々はどん

な風なことを思っているのか、紹介いただきたい。

- ・もう一点はもっと大きな話になるが、出雲大社の遷座祭があった頃、地球の歩き方という雑誌で「今年の夏行ってみたいところは」というアンケートを行ったところ第1位が、島根・出雲であった。それを反映するように、出張で関西に向かった際、松江から乗車される車両に明らかに若い女性を中心とした観光客がこんなにいるとは、雑誌が示したものが実証されていると感じた。
- ・言いたいのは、出雲の大遷宮があり、実際は松江駅から乗車されるということは、出雲だけではなく松江市内も観光して帰るということで、これを証明したのが、やはりその地域が持っている歴史とか、それが現在まで続いているそういう姿が、県外の方々にとって非常に魅力的な要素を持っているということ。
まさに歴史まちづくりの計画が本当にこれからの松江市の観光客を呼ぶという意味で非常に大きなウェイトを占めているということを中心に集まっている者全員で認識しながらいい計画になりさらにはいい整備ができるよう努めていきたい。

浅田会長

- ・ご質問とご意見とあったが、質問に対して説明を。

事務局（永島歴史まちづくり課長）

- ・二つ目のご意見の部分であるが、松江市にも若い観光客は非常に増えている。その一因は平成19年から23年にかけて玉造温泉の整備を行った。このとき地元旅館関係者や地元の地域の方がいっしょになって、もう一度にぎわいのある温泉地にしようと、美肌や神話をテーマにしたまちづくりが進められ、普段の平日でも若い女性の観光客が街を歩いている。最近出雲大社の大遷宮もあり、大社から玉造温泉に寄って八重垣神社に行くコースもあったり、京店にもパワーストーンが埋めてあってそれを探しに来る若い観光客もいる。
ただ、そういったことばかりでなく、松江市らしさという部分がこの歴まち計画でいかに保存活用していくかという計画になるので、そういった幅広い観光客の方に来ていただけるように計画して事業を進めていきたい。

事務局（飯塚歴史まちづくり課施設整備係長）

- ・道すじ修景事業について地元説明会をしてきている。説明会でいろんな意見が出てきている。松江らしい、城下町らしい景観にしていくことは非常に大事なことでという風におっしゃる方もあれば、実際、今の京橋川の町並みで大分ビルに建て替わったり、中には洋風な店構えの建物もある。城下町らしい町並みを作っていきたいという思いでアプローチをしているが、今後話聞きながら進めていく上でいろいろなニーズも出てくると思っている。今、思っているのは、こういったまちづくりは1年や2年で出来るものではないので、地域の皆さんと話をしながら足並みを揃えてゆっくり進めていく必要があると思っているが、今の建物を全部和風に出来るか

というとなかなか難しいと思っている。

町並みの景観の統一感を考えるときに、今あるものを決して否定するわけではないので、町並みの調和を皆さんと考えていきながら、いいものは残すし、ここはこう整えるとさらに回りと調和が取れるのではないかと、そういったことを地域の人たちと一緒に考えていきたい。

安部委員

- ・関連して尋ねる。ここは、歴史まちづくり協議会だが、私が属している景観審議会或いは、行政にはいろいろな会があるが、目的は一つである。本来松江というのは基本的に城下町で、400年歩んだこの城下町が基本になっている。その城下町というものの本質を残しながら観光資源として生かしていくことが必要。行政は縦割りということをよく言われるが、やはり横の連絡を取りながら目的は一つであるわけなので。3月の終わりにこれから20年後の松江のあり方について報告書があったが、行政は報告書を作ることが目的化してそれに基づいて今後どうするかという具体策が全く見えない。せっかく報告書ができたので、いろいろな会が組織されその辺を一体化していく努力をし、一つの目的に向かっていけたらと思う。

浅田会長

- ・ただいまの意見についてコメントを。

安田都市整備部長

・先々、松江市の町をどういう風にしていくかということについては、当然行政として議論しているし、市民の皆さんと一緒に考えていかなければいけないと思っている。一方で今こういう時代になると、自己主張も強い部分もあって先ほどから話のある面は、それぞれの資産に立ち入ってお願いする部分も、協力しなければいけない部分もある。そのあたりをどうやって理解していただいてご協力いただくかということが非常に今後重要になってくる。開府元年のまちづくり構想が出来たが、それに合わせて、今回都市計画のマスタープランも見直しも考えているので、そういった中で反映できるように考えていく。

浅田会長

- ・議題の総括評価については承認ということでよいか

(承 認)

浅田会長

- ・全体をとおしての意見、質問はないか。

勝部委員

- ・先日、新聞に市街化区域と調整区域の線引きの話が出ていた。改定をされるか、或いは無しになるかとすると、こういった歴史まちづくりのことを念頭においた線引きも議論されるのではないかと思うが、新聞では今後検討されると出ていた。簡単な状況でもわかれば教えていただきたい。

安田都市整備部長

- ・今、話のあった問題は、議会で線引き廃止の陳情が出されており採択されている。今、松江市はわかりやすく言うと、市街化区域と調整区域で分かれている。松江市としては平成27年県の都市計画審議会で見直しになるのを受けて、市の方も検討していく。6月議会で、市長は、今年中に都市計画のマスタープランのグランドデザインをいただいて、今年中には線引きの可否について方針決定していくことを表明している。その松江市の方針決定のための手続きということで、皆さんの意見を聞くという意味で今後新聞に書いてあったことをやっていくということ。

浅田会長

- ・市街化区域と市街化調整区域の線引きを無くすという話は非常に難しい話だが、調整区域にする今までの理由、いきさつが守るべきもの何かが必ずあったことだと思う。自然であったり、何か歴史的なものであったり。それについてはしっかり守っていく方向でいていただきたい。

他に、ご質問はないか。

全体を通して何人かの方から意見・質問の中であったが、計画や整備をやっている最中で期間の長いものもあるので、途中で情報を出してほしい。若しくは市民に説明をしてほしいという意見があったので、市民のいろんな協力をいただいたり、まち全体で観光や歴史を守っていくという思いを市民の方全員が持てるよう情報を適宜、また、効果的に出してほしい。先ほどの興雲閣の問題であったり今どうなっているのかなかなか市民はつかめないと思うので、情報をわかりやすい形で複数の手段、複数のやり方でなるべく多くの方が情報をつかめるように出していただきたい。

福村委員

- ・計画が立った段階で、こういう町並みでこういう瓦で統一ですとか、デザインができたところで見せていただくと良い。もうこれで進むとって京店の町並みが出来てどこかの町並みと同じようなイメージが出来た。と言われて、何年か経って素敵という人もいるかもしれないが、子供のころから見てて思っていた京橋のイメージとはかけ離れていたことが記憶に残っている。そういうところを見せていただきたい。

事務局（永島歴史まちづくり課長）

- ・ 情報提供については、出来るだけ早い段階で市民の皆様に提供できるような形をいろいろ考えていきたい。

浅田会長

- ・ これで議題の方は終了した。

事務局（永島歴史まちづくり課長）

- ・ 本日の協議会の議事録を作成し、確認を浅田会長一任で宜しいか。

（異議なし）

- ・ 長時間に渡り積極的な意見を頂き大変感謝を申し上げる。以上で平成 25 年度第 1 回松江市歴史まちづくり推進協議会を閉会する。

・・・・・・・・・・・・・・・・15 時 25 分 終了・・・・・・・・・・・・・・・・

上記議事録内容に間違いはありません。

署名者氏名

印
